

EX STAGE 05”,”広域殲滅型魔導兵器

話者	セリフ・ト書き
	■宮下公園
MC	勝者！ シャティル・ジャパン所属！ マチス＝アッカネン！
	//SE:観客の歓声 わーわー
MC	デバイスメーカー対抗戦、 全試合終了しましたが…… やはり、下馬評どおりシャティル強し！
MC	この決勝も含め、全勝優勝！ ファンの黄色い声援が 鳴り止まないぞー！
観客(女性)	マチスクーン！ こっち向いてー！
イオン	ふむ、見てくださいユーザーさん。 マチスの過去10戦分の ステージリザルトです。
イオン	最初に戦ったころとは、 比較にならない実力を 身につけているようです。
キョータロー	なんかイベントやってると思って ぶらっとのぞいてみたけど…… まさかあいつが戦ってるとはな。
キョータロー	確か、次の仕事はマチス相手 だったよな？ ……こりやあ けっこう苦戦しちまうかもな。
	■シャティル社 ー特別戦略室ー
マチス	……戻ったぞ。 対戦データのほうは……。
アデア	できました！ 室長、こんな感じでどうですか！？
イムラン	へえ……『オズの魔法使い』が こうなるかあ……。
アデア	エメラルドの都に住む魔法使いの 正体は、王と称する機械を 操っていた人間です……
アデア	ワタシ的に、その部分を『国を悪しき 者から守護するための超兵器と そのパイロット』と解釈してみました！
イムラン	邪悪な魔女とされる異形の災厄を 打ち払う、最強の機械神っていう わけだね！
アデア	はい！
マチス	これは…… 次に俺が使うACTか……。

イムラン	ああ、マチスくん。 ちょうどいいところに。
イムラン	そうとも！ この『機体』こそ、 広域殲滅型魔導兵機……『OZ』だ！
アデリア	調整はまだ80%という ところですが……どうですか？ カッコイイと思いませんか？
マチス	すごいな……。 ああ、気に入ったよ。
	■渋谷一駅周辺一
イオン	ユーザーさん、ユーザーさん。 ここが今回指定された場所です。
イオン	ふむ。 今日は普通に、ストリートでの ステージみたいですね。
イムラン	……や、やあ。どうも。 待たせちゃったかな。 ……ふう。
キョータロー	な、なんか今日は やたら疲れてねーか？
イムラン	ん、平気平気。 かるーく3日ぐらい 徹夜が続いただけだから。
キョータロー	平気じゃねーだろ。 その年で徹夜続きなんかしたら 背が伸びねーぞ？
イオン	お仕事でも無理はいけませんよ？ ユーザーさんは待てる男です。 少し休んではいかがでしょう。
イムラン	あはは。会ってすぐに 対戦相手の心配なんて、 親切な英雄さん達だね。
イムラン	いや、今日のステージで マチスくんが使うACTを 調整していたんだけど……
イムラン	納得いく形にしようと思ったら これがもう大変で……。
イムラン	けど、そのおかげで 今のマチスくんに対応しい 素晴らしいACTに仕上がったよ！
マチス	……ま、そういうことだ。 ここは、こいつの頑張り免じて 付き合ってくれるとありがたいな。
マチス	広域殲滅型魔導兵機 ……OZだ。
キョータロー	こ、こいつは……。 正統派のSFで攻めてきたな。
イオン	ふむ……これまで戦ってきたACTとは 一線を画すデザインですね、 ユーザーさん。
イムラン	一線を画しているのは デザインだけじゃないよ。 性能のほうも折り紙付きさ。
キョータロー	だろうな……。なんかこう、 余計な『遊び』が無い、ガチでバトルに 特化したACTって感じた。
キョータロー	予感が当たったな……。 【ユーザー名】 こいつは……強いぞ！

イオン	確かに強そうです。 が、相手が強ければ強いほど ユーザーさんも力を発揮しますよ！
イオン	ユーザーさん！ これまで培ってきた 英雄としての力を試すのに、 申し分ない相手のように……
イオン	全力で挑み、勝ちましょう！
マチス	それは俺も望むところ。 今日こそは、これまでの借りを 返させてもらおうぞ！

話者	セリフ・ト書き
	//OZとのバトル
OZ	警告。 敵影有り。 戦闘モードに移行します。
マチス	ああ。 悪しき魔女を討つエメラルドの 魔槍の力、見せてくれ。
イムラン	『魔導兵装は音声コール式だから そこは注意すること』 ……って指示が来てるよー。
マチス	……あいつめ。 それはどうしても 守らなきゃいけない指示なのか？
キョータロー	あいつ？ ……誰のことだ？
マチス	こっちの話だ。 気にするな ……行くぞ！

話者	台詞 / ト書き
	■渋谷一駅周辺ー
イムラン	あちゃー。 今回は、勝ちたかったよねえ。
マチス	……くそ！ もう一歩……もう一歩だけ 及ばなかった……。
キョータロー	め、珍しいな。 あいつがあんなに 感情的になるなんて。
イオン	今回のステージにおける マチスの敗因は――
イオン	魔導兵装のコールを 音声で行わなかったからでは？
マチス	……ふっ。 そうかもしれないな。 あとで謝っておかないと……。
イムラン	そうだね……。 とにかく、また出直してくるよ。 次もよろしくねー。
イオン	はい、次もよろしくお願ひしま す。
	■シャティル社ー特別戦略室ー
マチス	すまなかったな、アデリア。 せっかく徹夜までして 調整してくれたのに……
アデリア	勝負は時の運です。 仕方ありませんよ。 次、またがんばりましょう！
ミヤコ	まったく……。 イムラン様、お遊びも たいがいにして下さいね。
ミヤコ	貴重な予算をこういう形で 浪費されるのは 秘書として見過ごせません。
イムラン	いやいやいや。 アデリアくんの着眼点は とっても良かったと思うよ。
イムラン	彼女は開発者に 向いているのかもしれないね。 クリエイター気質と言うか。
イムラン	OZは受けると思うよ。 早速、関連商品の ラインナップを考えよう。
ミヤコ	……あまりマス向けの素材とは 言えないのでは？ あくまで個人的な意見ですが。
イムラン	中にはそういうのが あったっていい。 狭く、深く浸透するタイプもさ。

イムラン	……さて、ミヤコ。 ここからは真面目に本題だ。
イムラン	wiz-domにおける『プラナ・カハーニー』の情報占有率、蓄積率はどうなってる？
ミヤコ	昨日の計測では、0.6%程度だったはずですが……
イムラン	おー、もうそんなに！ メディアミックスに力を入れた成果が出てきたね。
ミヤコ	……1%に満たない数値で、ですか？
イムラン	1%というのは、最終的な目標に近い値だよ。 ……考えてもみてごらん。
イムラン	無限と言っても過言ではない膨大な『物語』が集積する中での1%は、凄い数字だと思わない？
イムラン	ボクの予測では、 そこまで到達できれば――
イムラン	wiz-domは、プラナ・カハーニーをひとつの『体系』……言い換えれば『世界』として認識する
ミヤコ	イムラン様の狙いは、 そこにあると？ ……ですが、何のために？
イムラン	最初に言ったはずだよ。 ボクはwiz-domからもっと純粋な『概念』を取り出したいって。
イムラン	どんなモノにだって、0が1に変わる瞬間は存在する。 宇宙だって、そうだ。
イムラン	ある瞬間、無から有が生まれる。 だけど、ほとんどの場合それは見過ごされてしまう。
イムラン	……ボクは違う。 じっと目を光らせる。 必ず、つかんでみせる。
イムラン	0が1に変わる、ほんのわずかなその刹那に……ボクが欲するモノはあるはずなんだ。
ミヤコ	イムラン様……。